

第一章 第二十八軍編成ノ経緯ト其ノ完結

昭和十九年初頭緬甸方面軍ノ主戦力ヲ以テスル東部印度ノ進攻作戦ヲ容易ナラシメ併セテ聯合軍ノ海岸方面ヨリ豫期セラルル反攻作戦ニ對スル防衛ノ完璧ヲ期スル爲當時方面軍ノ直轄トシテ馬來方面ヨリ「イラワヂー」「ヂルター」地帯ニ進出中ノ第二師團「ラムレ」「チエドバー」島方面ニ配備中ノ第五十四師團及「アラカン」方面ニ作戦中ノ第十五師團ヲ基幹トシテ新タニ左記第二十八軍戦斗序列ヲ令セラレ一月二十九日「ラングーン」ニ於テ其ノ編成ヲ完結セリ

左記

第二十八軍戦闘序列

第二十八軍司令部

第二師團

第五十四師團

第五十五師團

獨立速射砲第十四大隊

野戰機關砲第四十四中隊

獨立自動車第五十五大隊
 獨立自動車第二百三十六中隊
 特設自動車第十中隊
 獨立輜重兵第五十一大隊
 架橋材料第二十六中隊
 渡河材料第十中隊
 第二十野戰道路隊
 第一百野戰道路隊
 第一百十八兵站病院
 患者輸送第七十小隊
 患者輸送第七十一小隊
 編成當時ニ於ケル軍隊區分ニヨル配屬部隊左ノ如シ
 步兵第二百十三聯隊第一大隊
 野戰重砲兵第三聯隊第三中隊（九六式十五榴）
 野戰高射砲第三十五大隊第三中隊
 船舶工兵第十一聯隊（一中ト一小隊缺）

0701

船舶工兵第四聯隊第三中隊
 海上輸送第三大隊
 第三十八師泊場司令部ノ一部
 南方軍築城部緬甸支部主力
 水上勤務第三十八中隊
 陸上勤務第九十三中隊
 建築勤務第百一中隊ノ二小隊
 同區處部隊左ノ如シ
 緬甸方面軍通信隊ノ一部
 光機噐ノ一部
 緬甸方面軍補給廠ノ各一部
 軍ハ「ベンガル」灣沿岸一〇〇〇軒ニ亘ル長延ナル海岸ヲ含ム
 西南防衛管區ノ防衛ヲ擔任シ附圖第一ノ態勢ヲ以テ聯合軍上陸企圖ノ
 完封ヲ期セリ
 當時ニ於ケル作戰計畫ノ大要附錄第二情勢判斷附錄第五、情報組織附
 表第一ノ如シ

0702